

学校保健安全委員会だより

令和6年1月23日
水戸市立寿小学校

令和6年1月17日（水）、学校医の先生方、PTAの委員の皆さまの出席をいただき、第2回学校保健安全委員会が開催されました。保健・安全・食育・体育各部から今年度の指導状況等について報告を行った後、学校医の神代秀爾先生より「職場における感染症対策・総論」についてお話をいただきました。

各部からの報告

● 保健部

- ・ 今年度の保健指導は、主に、各学級で実施する「健康タイム」、および特定の学年を対象とした各種保健指導を実施した。
- ・ 性教育講演会では、小さな穴が開けられた画用紙が一人一人に配られ、受精卵の大きさについて実感することができた。児童の感想から、命の尊さ、育ててくれた家族への感謝の気持ちを感じたようである。保健室でも、このような子供たちの心と体に寄り添いながら、今後も支援していきたい。

● 食育部

- ・ 発達段階に応じたテーマで給食指導を実施した。また、水戸市食育サポーターの学生とも連携し指導にあたった。
- ・ 給食委員会では、牛乳を全部飲んだ人数をクラスごとに集計し、発表する活動を行った。それにより、牛乳を苦手な児童が一口だけ飲んでみるなどの行動が見られた。今後も、苦手な食べ物でも一口はチャレンジしてみる児童が増えるよう、担任と連携しながら給食指導にあたりたい。

● 安全部

- ・ 2学期は火災を想定した避難訓練を行った。休み時間に実施し、それぞれの場所から避難をした。児童の様子から、実際に火災が起きたときを想定して避難を行うことができたようである。
- ・ 今年度は今のところ、登下校中の大きなケガもなく班長さんを中心に安全に登下校できている。来年度に向けて、3月4日（月）に通学班編成を行い、翌日から新班長さんを先頭に登校する。

● 体育部

- ・ 今年度の体カテストの結果、本校児童はボール投げや反復横跳びが低い結果となった。その対策として、体育館にストラックアウトや点数を書いた的を設置した。授業中や中休みや昼休みなどに活用し、児童は意欲的に取り組んでいる様子が見られる。
- ・ 長寿命化工事に伴い、運動場が半分になっており、サーキットトレーニングのやり方や休み時間の遊び方などについて、新たな取り組みを実施しているところである。



<学校薬剤師 鍋木 正三 先生より>

様々な理由により、依然として風邪薬が手に入りにくい状況が続いています。感染症に罹患した場合に備えて、薬局などで一般市販薬を常備しておくとも良いかもしれません。なお、持病がある場合は、薬剤師などに確認した上で服薬するようにしてください。

職場における感染症対策・総論

学校医 神代 秀爾 先生



1 感染症発生のメカニズム

病原体による感染が成立するためには、病原体が人の体内で分裂と増殖を繰り返す必要があります。

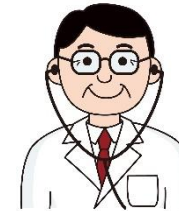
- 分裂と増殖を起こす条件
- ①病原体の病原性が高い場合
 - ②宿主の抗原性が低い場合



2 感染予防対策の原則

標準予防策※、空気感染予防策、飛沫感染予防策、接触感染予防策などがあり、感染経路の対策を行います。

※標準予防策とは、患者の血液・体液・喀痰・尿・便などすべての湿生生物質に感染性があるとみなす対策のこと。手指衛生・手袋・サージカルマスク・N95などのこと。

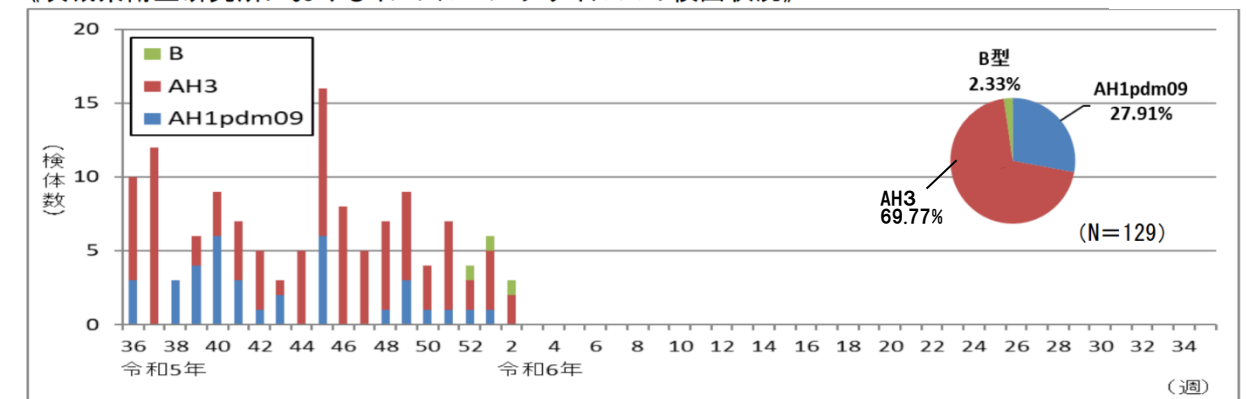


予防策の中でも特に大切なのは、手洗いです。アルコール消毒は、ノロウイルス感染症などに対しては有効ではなく、簡易的であり過信はできません。石けんを用いて、流水で手洗いをを行うことが良いでしょう。

3 今年のインフルエンザの流行状況について

例年に比べて今年は流行が早く、感染者も多くなっています。インフルエンザA型でも2種類が流行しており、また、B型に感染する児童も少数ですがいます。最大で3回感染する可能性もありますので、感染予防対策に努めていきましょう。

《茨城県衛生研究所におけるインフルエンザウイルスの検出状況》 令和5年36週(9月4日)～ 茨城県HPより



<学校歯科医 宮内 千年 先生より>

インフルエンザ予防には、手洗いやマスクに加えて、歯みがきも有効です。歯周病がある人とそうでない人を比較すると、インフルエンザウイルスが体内に入った場合、歯周病の人は、発症するリスクが10倍になるという研究データもあります。歯周病菌は、うがいでは除去できません。歯ブラシの毛先で取り除くようにしましょう。

